

第3学年 社会科学習指導案

1 単元名 「はたらく人とわたしたちの暮らし」 小単元(2)「店で働く人と仕事」

2 指導観

- 本学級の子どもは、これまでに自分の住んでいる地域や区、市の地形や土地の利用、交通の広がりや主な公共施設などの場所などについて調べ、場所によって土地や土地利用の様子が異なることを捉えている。また、地域には物を生産、販売する仕事があることを捉えている。前小単元「シャボン玉石けん工場で働く人と仕事」では、地域の産業の様子や生産には一定の順序や工程があること、地域で生産されたものは地域の人々の生活に使われていることを理解している。また、調べる活動では、数や量に着目したり、視点に沿ってありのままに観察したりすることができている。しかしながら、複数の事象を関連付けて考えたり、事象の意味を考えたりする力は十分ではない。
- 本単元は、販売の仕事として、校区にあり子どもも利用経験があるスピナ戸畑店スーパーマーケットを取り上げる。本単元では、写真や映像、地図などの具体的な資料を通して、スピナ戸畑店の店内の様子や働く人々の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考えていく。そして、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるように工夫して行われていることを理解できることをねらいとしている。消費者の願いやそれに応えようとする販売者の工夫について考えることを通して、今後の買い物の仕方について考えることができる教材としても価値が高い。
- 指導に当たっては、次の手立てをとる。

(1) 個の考えをつくる学習活動に資する手立ての工夫

① 見方・考え方を働かせる「問い」の構想と「問い」を子どもがもつための活動の工夫

子どもがもつてであろう「問い」について以下のように構想し、問いをもつための活動を設定する。

考察や構想に向かう問い	働かせたい見方	問いをもつための活動の工夫
【学習問題】 スピナ戸畑店は、どのような工夫をして、たくさんのお客さんに来てもらっているのだろう。	・家の人が買い物をする場所の範囲、分布 ・販売店ごとの数の比較 ・消費者の願い	○ 家の人にどんな場所でのようにして買い物をするのか聞き取る活動
スピナ戸畑店は、「品ぞろえ」「新鮮さ」「便利さ」「値段」の点で、どのような工夫をしているのだろう。	・販売の工夫 ・店内の商品の配置	○ スピナ戸畑店の店内地図や写真、ちらしを見て、販売の工夫について予想を話し合う活動
スピナ戸畑店で働く人は、どのような工夫をしながら働いているのだろう。	・店で働く人の役割 ・働く人の働き方の工夫 ・1日の仕事の様子	
スピナ戸畑店で売られている商品は、どこから運ばれてくるのだろう。	・仕入れ先の分布、範囲 ・仕入れの工夫	
お客がたくさん来る昼頃や夕方時間帯に、スピナ戸畑店のお店の人はどのような工夫をしているのだろう。	・時間の経過による販売の仕方の工夫 ・消費者の願い	○ 来店者数の変化についてグラフから読み取り、働く人の工夫について予想を交流する活動
どこで、どのようなことに気を付けながら買い物をすればよいのだろう。	・消費者の願い ・販売店の工夫	○ スーパーマーケット以外の販売店の工夫を調べ、工夫の違いについて話し合う活動

② 調べ、考えたことを表現する活動の工夫

子どもが、「スーパーマーケットは、たくさんのお客さんに来てもらうために、どのような工夫をしているのだろう。」という問いについて、ICTを活用して具体的な店内の写真や映像を

通して調べる活動を仕組む。調べる際は、「品ぞろえ」「新鮮さ」「値段」「便利さ」の視点で調べることができるように、調べる前に店内地図やちらし等を活用して予想を立てる活動を仕組む。また、調べたことを基に、販売の仕方の工夫や働く人の工夫について考える際は、子どもが自由に調べた際に使用した「店内の写真や映像」「店内広告」などのGIGA端末内の写真を見ながら考えることができるようにする。

(2) 個の考えを広げ深める活動に資する手立ての工夫

① 調べ、考えたことを共有する活動の工夫

資料を基に、販売の工夫について考えることができるように、GIGA端末にスピナ戸畑店の店内の写真や映像を入れておき、子どもが必要に応じて自由に見直すことができるようにする。また、子どもが考えを説明する際は、GIGA端末上で根拠となる資料を提示したり、これまでに使用した掲示資料や学びの足あとを活用したりして、子どもが視覚的に根拠となる事実を共有できるようにする。

② 見方・考え方の働きをより活発にするために考えを再構成する活動の工夫

「時間経過の視点」を働かせ、販売の工夫について考えを再構築することができるように、来店者数に変化があることを資料から読み取る活動を設定する。そして、来店者の多い時間帯にどのような工夫をしているかについて問いをもち、考えることができるようにする。その際、「お店の様子」を根拠として、販売者の工夫と消費者の願いを関連付けて考えることができるように、お店の様子と販売者や消費者の思いを分けて記述できるワークシートを活用して話し合う活動を設定する。さらに、自分の生活と結び付けて販売の工夫について考えることができるように、天気や季節、行事によっても商品の品ぞろえや売り方を変えているという店長さんの話を聞き、聞いた話を基に自分の買い物の経験を振り返る活動を設定する。

3 単元の目標

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解することができる。 ○ 写真や映像、地図といった具体的な資料やインタビュー活動を通して調べ、調べたことを適切にまとめることができる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を消費者の願いと関連付けて考え、適切に表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットで働く人々の仕事について、予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に問題を追究し、解決しようとする。 ○ 学習したことを基に、自らの買い物の仕方に関心を高め、これからの生活に生かそうとする。

4 展開計画(総時間数11時間)

	主な学習活動	主な指導上の留意点	【観点】評価規準
出 合 う	1 家の人の買い物の様子について話し合い、買い物調べの計画を立てる。① 2 買い物調べの結果をグラフについて話し合い、学習問題を設定して、予想を立てる。① 3 スピナ戸畑店の見学計画を立てる。①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃、どのような買い物をしているかについて調べる意欲を高めることができるように、家の人はどこでどのようなものを買っているか、自分の買い物の経験や教師の買い物の仕方について交流する活動を設定する。 ○ スーパーマーケットにたくさんの客が訪れる理由について予想できるように、スピナ戸畑店の店内地図や動画、ちらしを見て、販売の工夫について予想を話し合う活動を位置付ける。 ○ 「品ぞろえ」「新鮮さ」「値段」「便利さ」の視点で調べることができるように、子どもの予想を4つの視点で分類して板書する。 	【主】 スーパーマーケットで働く人々の仕事について、予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に問題を追究し、解決しようとしている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習問題 スピナ戸畑店は、どんなくふうをして、たくさんのお客さんに来てもらっているのだろう。 </div>			

さ ぐ る ・ ま と め る	<p>4 スーパーマーケットの見学を通して、店内の様子やそこで働く人の様子を観察し、分かったことをまとめる。③</p> <p>5 見学して分かったことを交流し、まとめる。①</p> <p>6 スーパーマーケットに並ぶ商品の仕入れについて調べ、まとめる。①</p> <p>7 消費者の多様な願いとそれに対する店の工夫について考え、話し合う。①<本時></p> <p>8 学習問題についてまとめ、販売の仕事の工夫について考える。①</p>	<p>○ 店内の様子や店で働く人の様子を具体的に捉えることができるように、GIGA端末にスピナ戸畑店の店内の写真や映像を保存しておき、子どもが自由に閲覧できるようにする。</p> <p>○ 「品ぞろえ」「新鮮さ」「値段」「便利さ」の視点で販売の工夫についてまとめることができるように、観察して分かったことを付箋に書き、4つの視点で分類する活動を設定する。</p> <p>○ 身近な地域だけでなく、国内の他地域や外国との関わりを捉えることができるように、商品の仕入れ先を白地図にまとめるなどの産地を調べる場を設定する。</p> <p>○ 消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について、「スピナ戸畑店では、お客さんがたくさん来る昼頃や夕方の時間帯に、お店の人はどのような工夫をしているのだろう。」という問いを設定し、自分の生活と関連付けながら話し合う活動を設定する。</p> <p>○ 「お店の様子(事実)」と「販売者の工夫・消費者の願い(考え)」を関連付けて考えることができるように、事実と考えを分けて記述できるワークシートを活用する。</p> <p>○ 学習問題について自分なりに考えをまとめることができるように、4つの視点(値段、品ぞろえ、新鮮さ、便利さ)に整理しながら学習問題について振り返る場を設定する。</p>	<p>【知】見学したり地図などの資料で調べたりして、販売の工夫について理解し、適切にまとめている。</p> <p>【知】商品の産地を調べ、白地図にまとめている。</p> <p>【思】時間帯などによっても販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について考え、表現している。</p> <p>【知】販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。</p>
い か す	<p>9 スーパーマーケット以外の店やその販売方法について調べ、自分の今後の買い物について考える。①</p>	<p>○ 自分の学びを振り返り、自分の今後の買い物について考えることができるように、「自分がお客さんだったら」という視点で学習を振り返る活動を設定する。</p>	<p>【主】自らの買い物の仕方に関心を高め、これからの生活に生かそうとしている。</p>

5 本時の学習

(1) 日時 令和4年9月22日(木)5校時 於 3年1組教室

(2) 主眼

お客が多い時間帯にどのような工夫をしているのか話し合う活動や店長さんの話を聞く活動を通して、時間帯などによっても販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について考え、表現することができるようにする。






(3) 見方・考え方を働かせている子どもの姿

時間の経過による販売の仕方に着目し、時間帯などによっても販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について考えようとする姿

(4) 準備

GIGA端末、ワークシート、ワークシートを拡大掲示、ホワイトボード、付箋、学びの足あと

(5) 展開

学習活動と子どもの思考	○指導上の留意点,【観点】評価規準(評価方法)
<p>1 グラフ(スピナ戸畑店の1日の来店者数の変化)を見て,気付いたことを話し合い,本時のめあてをつかむ。</p> <p>昼ごろや閉店前にお客が多いよ。お店の人が何かしているのかな。</p> 	<p>○ 来店者数に変化があることを捉えるとともに,来店者数の多い時間帯にどのような工夫をしているかについて問いをもてるようにする。また,時間経過の視点で販売の工夫について考えることができるように,変化が分かりやすい棒グラフで来店者数を提示し,お店の工夫について問いかける。</p> <p>○ 店内の写真子どもが根拠として示しながら考えを構築することができるように,GIGA端末内に店内の写真や映像を保存しておく。</p>
<p>(めあて) お客さんがたくさん来る昼頃や夕方の時間帯に,スピナ戸畑店のお店の人はどのような工夫をしているのだろう。</p>	
<p>2 お客が多い時間帯にどのような工夫をしているのか個人で考え,小グループで話し合う。</p> <p>総菜や野菜の棚に,たくさんの品物が置いてあるから,お昼までに,お店の人が品ぞろえよくしていると思うよ。</p>  <p>3 全体で話し合い,自分の考えを再構成する。</p>	<p>○ 「お店の様子」を根拠として,販売者の工夫と消費者の願いを関連付けて考えることができるように,お店の様子と販売者・消費者の思いを分けて記述できるワークシートを活用する。</p> <p>○ 話し合いの内容を可視化し,共有することができるように,付箋に書いた自分の考えを提示しながら考えを交流する場を設定する。</p> <p>○ 前時までに捉えた販売の工夫の視点で,時間帯によっても販売の仕方を変えているということについて考えることができるように,「品ぞろえ」「新鮮さ」「値段」「便利さ」の4つの視点で分類しながら板書する。</p> <p>○ 売り上げを高めようとする販売者の工夫と消費者の願いとを関連付けて考えることができるように,「お家の人は,どのような思いで買い物しているのかな。」と,消費者の願いについて想起できる発問をする。また,「なぜ,売り上げは減るのに,お店の人は値引きをするのか。」と問いかける。</p>
<p>朝より昼の方が品ぞろえがいいから,お客さんは,いろいろな商品の中からほしいものが選べて嬉しいだろうね。</p>  <p>割引をした後は,総菜が全部なくなっているね。値段を安くすることで,お店の人は,売れ残りがでないように工夫しているんだね。</p>  <p>昼に品ぞろえをよくしたり,夕方に値引きをしたりすることで,お客さんの願いが叶うね。だから,お客がたくさん買い物に来てくれて,売り上げも高まるね。</p> <p>お店の人は,その日に売らないと食べられなくなる総菜を値引きしているね。お客さんにとっては,その日に食べるから値引きされると安く買えて嬉しいね。</p>	
<p>(まとめ) スピナ戸畑店では,お客さんの買い物の仕方や願いにこたえようと,時間帯によって商品の置き方や品ぞろえ,値段を変える工夫をしている。</p>	
<p>4 店長さんの話を聞く。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>時間帯だけでなく,天気や季節によって置く商品を考えているなんてすごいな。わたしも買い物に行ったとき,粟特集のコーナーを見て,買いたくなったよ。</p> 	<p>○ 「時間経過の視点」で,さらに販売の工夫を捉えることができるように,天気や季節,行事によっても商品の品ぞろえや売り方を変えているという店長さんの話を聞く場を設定する。</p> <p>○ 自分の経験と結び付けて販売の工夫について学習を振り返ることができるように,買い物の経験と結び付けて本時を振り返った子どもを意図的に指名する。</p> <p>【思】 時間帯などによっても販売の仕方を変えることで,消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について考え,表現している。 (発言・ノート記述)</p>

(6) A評価とB評価の様相

区分	様相
A評価 (十分満足できる状況)	時間帯などによっても販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について、自分の経験と結び付けて考え、表現している。
B評価 (おおむね満足できる状況)	時間帯などによっても販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について考え、表現している。